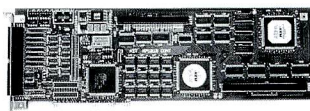


KIT (キット) は素材

本誌をご覧になっている様な技術者達は、多かれ少なかれキットを使った事があるでしょう。それは子供の時、学習誌の付録であったり、夏休みの宿題用の木工キットであったり、トランジスタや抵抗に初めて触れたのもキットと言う方が多いのではないのでしょうか？弊社では、画像処理技術を中心とした設計技術を素材として御提供し、より良い製品開発のお役にたてれば幸いです。今日までの開発実績と、新しい御要望に対するアイデアの斬新さを御評価いただきたいので、どんどん難題を持ち込んでください。

PCI基板

アイデアの実現手段としてPCIボードが選ばれる事が多いです。システムコストを考えると、CPU等は量産されているボードを選んで、どうしても特化する機能だけをPCIで実現するという事で選ばれていると思います。



CompactPCI

まだまだ、コストが高いですが高信頼性を求めるシステムに選ばれます (KITも実績有)。速度要求が厳しくなければVMEも健在です。

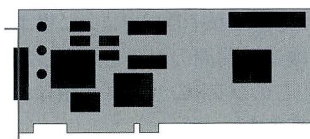
CompactPCIはPICMGの登録商標です。

大規模PLD

PLDは、ゲートアレイと異なりある程度まとまったロジックアレイのかたまりです。したがって選定したデバイスに合わせたテクニックが必要となります。アルゴリズム開発とは異なった次元の技術ですが、コストパフォーマンスの良い製品を開発する上で、これも主要な要素です。

KIT1000

画像処理やPCIの御勉強もできるキャプチャーボードです。このボードを購入していただければ、すぐカラー画像の入出力ができますし、ユーザブルPLDを解放しておりますので、簡単な回路の勉強もできます。キャプチャー回路とユーザブルPLDが独立しておりますので、安心して勉強してください。これが素材としての気配りのつもりです。



弊社の実績カタログを御用意しております。お気軽に御請求ください。

<http://www02.so-net.ne.jp/~kit/>

各社製品名は各社の商標または登録商標です。

Knowledge
Imaging
Technology

KIT

システム開発専門会社
株式会社

ケーアイテクノロジー

〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央19-1 タウンスクエア3階 TEL: 045 (949) 5331 (代) FAX: 045 (949) 5332